

# 楓園

ISSUE  
2022 1/31

93

FÛEN [フウエン]  
Toyo Eiwa Jogakuin  
Public Relations Report



特集1 一貫教育が生み出す英和スピリッツ — 院長を囲んでの座談会 —

特集2 『アンのゆりかご』世界へはばたく — 英訳版 *Anne's Cradle* 完成 —



東洋英和女学院  
東洋英和楓の会



# 一貫教育が生み出す英和スピリッツ

— 院長を囲んでの座談会 —

時代の転換期を迎え、今後、東洋英和はどのような教育機関であるべきか。  
増淵 稔院長と、幼稚園から大学までの各部を代表する先生方に、  
改めて東洋英和の教育理念や、目指す人格形成について話し合いました。

※座談会は2021年10月1日に行われました。

## 東洋英和の教育の柱を 改めて考える

**柿野** 本日の進行を務めます柿野です。よろしくお願いたします。座談会に先立ち、2020年11月より理事長とともに院長を兼任されている増淵院長に、現在の東洋英和の教育の特徴についてお話しいただきます。

**増淵** 世間から見た東洋英和の特徴は、「ミッションスクール」「女子校」「幼稚園から大学・大学院まである一貫校」「私立」「創立135年を超える伝統」の5つが挙げられると思います。なかでも大きな柱はキリスト教教育で、キリスト教に基づく人格形成を重んずる教育機関です。この点は100年後も変わるべきではないもので、ほかの4つの特徴はキリスト教教育を支える四隅の柱といえます。また、東洋英和の教育理念は「敬神奉仕」に凝縮されます。神を愛し、人を愛すること。神様に愛されている自分という存在を尊く思うこと。そして、自分と同じように他者を愛すること。これこそが、東洋英和の教育の柱であると思います。

**柿野** 増淵院長、ありがとうございます。それでは各部の部長である先生から、各部長の年齢に合わせた教育とキリスト教とがどのように関係しているか、ご紹介をお願いします。

## 聖書の言葉

「しかし、わたしはあなたのために、信仰が無くならないように祈った。だから、あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい。」

(ルカによる福音書 22 章 32 節)

聖書を読んでハッと気付かされるのが沢山あります。その中で最も感動したことは、私たちのためにイエスさまが祈ってくださっているということです。私たちが孤独の中誰にも聞かれないと祈ることもあるでしょう。その時、私たちが祈る前に、実はイエスさまが祈ってくださっているのです。なんと私たちは神さまに覚えられ祈られているのです。イエスさまの祈りに応えて、毎日祈りましょう。必ず、新しい力が与えられます。

学院評議員 高橋 潤 (銀座教会牧師)

## 座談会参加者



高等部長  
楠山 眞里子

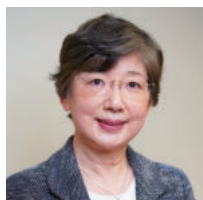


大学学長  
池田 明史



理事長・院長  
増淵 稔

1943年生まれ。1966年東京大学法学部卒業後、日本銀行入行。1998年から2002年まで同行理事。2004年から2019年まで日本証券金融株式会社代表取締役社長、取締役会長を歴任。2005年より東洋英和女学院理事・評議員、2018年理事長就任、2020年11月1日院長就任。日本基督教団井草教会会員。



小学部長  
山本 香織



中学部長  
石澤 友康

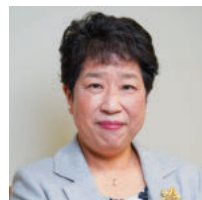


大学付属かえで幼稚園長  
大漣 知子



東洋英和幼稚園長  
堤 加壽美

### 【司会】



中学部教頭  
柿野 滋子

します。

大漣 かえで幼稚園の子どもたちは、自分が愛されている存在であるという自尊心と、互いへの信頼を持って育ちます。園児の大半が公立の小学校へ巣立ちますが、目に見えない確かな存在に愛され導かれているという実感が、一人ひとりの心に宿り、生涯を支えていくと信じて保育を行っています。もう1つ私たちが大切に行っているのは、東洋英和女学院大学の教育実習生と過ごす時間です。園児、職員、実習生が共にキリスト教に基づく保育の場で、神様と人に仕える者へと成長しています。今後、時代に沿った変革があっても、キリスト教に基づく保育は引き継がれていくものと思っています。

堤 東洋英和幼稚園は、都心にありながら豊かな自然に囲まれており、青虫がサナギになる、おたまじやくしがカエルになるといった自然の営みを通して、子どもたちは神様の業を感じ取っているのではないかと思っています。また一人ひとりが神様に愛されている存在であり、その子どもらしい成長のスピードを大切にしていますので、「何歳までにこうあるべき」という決まりはありません。また、何事も効率優先ではなく、つまずいたり、試行錯誤を重ね仲間と助け合ったりする日々の経験を通し

## Contents 表紙写真：村岡花子が在学していた頃の書籍室(上)と現在の中高部図書館(下)

### 【特集 1】

P.01 一貫教育が生み出す英和スピリッツ  
—院長を囲んでの座談会—

### 【特集 2】

P.05 『アンのゆりかご』世界へはばたく  
—英訳版 Anne's Cradle 完成—

P.09 From the Garden of Kaede  
楓の園から [学院 NEWS]

P.17 Cartmell's Prayer [宗教教育委員会]

P.19 教員紹介

P.21 東洋英和楓の会

「楓園」で掲載している写真には、コロナ禍以前に撮影されたものも含まれています。

て、他者への思いやりが育まれると  
考えています。

**山本** ある先生が「小学部はどこを取っても敬神奉仕」とおっしゃいましたが、小学部のキリスト教教育をよく表していると思います。小学部には長いあいだ聖書科の専任教諭がおらず、担任の先生が自分の言葉で聖書を語ってきました。その自負と伝統があるため、聖書科ができたあとも、全ての教員によってキリスト教教育を行っています。児童にとって身近な担任の先生が、週に一度聖書と信仰について語ってくれるのは意味のあることだと思います。また嬉しいこととして、一昨年の「ボクらのSDGs標語大賞」では小学部出身（現中学部）の生徒の「教育を受けた私が伝える番」という標語が賞を受けました。この標語のように、東洋英和で受けた教育により、平和な社会・未来・地球を世に広く伝えられる子どもを送り出すことが、私たちの使命ではないかと思えます。



**石澤** どの学校の教育目標も最終的には、人格形成であると思います。

ですがそのための手段として、学力や体力をつけるような「〇〇ができるようになる」といった能力主義になりがちです。一方、東洋英和の教育は「神を敬い、隣人を愛しなさい」という、神と人、自分と他者という縦軸・横軸の両方を持って人格形成を行っています。東洋英和には、困っている人がいたらみんなが気にかける安心感があり、その根幹にはキリスト教教育があることこそ、東洋英和の礎であり、伝統だと思います。**楠山** 高等部になると、選択科目による専門的な勉強になり、将来の進路も定まってきます。ただ忘れてはならないのは、東洋英和は英語に長けた人材や偏差値の高い大学を目指す人材をつくる学校ではなく、人格を育てる学校であることです。生徒たちは、神様が共に歩んでくれている安心感のなかで生活を送っていますので、みんな優しく、いつも他者

のことを思いやっています。また近年の新しい試みとしては、総合探究の時間でいうSDGsをテーマとした学習があります。昨年から東洋英和女学院大学の先生と学生に協力を仰ぎ、生徒の視野を広げる手助けを行っていたと思っています。このような連携ができるのも、一貫校である東洋英和だからこそだと思います。**池田** 大学の場合、皆さんの部とは異なる点が2つあります。1つは、18歳をみなし成人とすると、全ての学生が成人であること。もう1つは、多様性です。女性であることは皆同じですが、育ってきた家庭環境や受けてきた教育はさまざまです。つまり、聖書を読んだことがなく、礼拝にも出たことがない学生が大勢いるなか、キリスト教や敬神奉仕をどう伝えていくかが課題となります。私は聖職者ではありませんが、ゼミ生から敬神奉仕について質問を受けたときは、コンパスに喩えて話をしていきます。「敬神」はコンパスの針で、



自分のぶれない芯、価値観をつくる  
ことが大切であること。「奉仕」は  
コンパスで描く円で、他者と共に生  
きるということ。ただし、どのよう  
な他者が、何を求めているかは時代  
や状況によって変わるため、適切に  
判断できる能力を養うことが大切だ  
と伝えています。また、卒業生につ  
いての話となりますが、企業の人事  
担当者の方の話を聞くと、「東洋英  
和の卒業生がいるとチームのパフォ  
ーマンスが上がる」という評価をい  
ただくことがよくあります。これは、  
以前コンサルティング会社に学生の  
評価をしてもらった際に、他者と協  
力して働く「協働力」が突出して高  
かったことと関連してくるように思  
います。世の中の仕事の多くはチー  
ムで行いますから、協働力があるこ  
とは大きな強みであり、社会人とし  
ての高い評価につながるのではない  
かと考えています。

### 東洋英和流の一貫教育と 女子教育が生み出すもの

**柿野** 次は、一貫教育についての話をしたいと思います。一貫教育の優れた点、または課題点について、何かご意見はありますか。

**増淵** 私から1つ補足したいのですが、東洋英和は一貫校ではありませんが、高等部から大学に内部進学する

生徒が少ないことがあります。にもかかわらず、幼稚園から大学まで一貫しているものもあるかと思うのですが、この点についての、皆さんのご意見もぜひ伺いたいです。



**石澤** 一貫教育の一般的なイメージは、受験をしなくてもエスカレーター式に幼↓小↓中高↓大学と進めるといふものかと思いますが、東洋英和の場合はそうではなく、増淵院長がおっしゃるように、幼稚園から大学まで1本の柱、1本の教育理念でつながっているという意味においての一貫教育だと私は認識しています。**池田** 私のゼミには、以前から東洋英和の高等部出身者が多くいますが、彼女たちに共通しているのは「一歩前に入る」ところだと思います。自己主張が強いということではなく、主体性を備えている人が多いという印象です。この点は、一貫教育の1つの成果ではないでしょうか。**楠山** 池田先生がおっしゃることは、女子校であることも大きいように思



います。男子生徒がいないため、楓祭（文化祭）などでの荷物運びも自分たちでやるしかありません。普段の学校生活でも、一歩下がって誰かに頼ることはなく、自らリーダーシップを執ることも当たり前と持っている生徒が多いです。さまざまな学生が集まる大学において、一歩前に出る高等部出身者にほかの学生が引張られ、リーダーシップが執られるようになるのは良いことですね。

**山本** 在校生のみならず、何万人もの卒業生に英和スピリッツが引き継がれているという意味においても一貫教育といえると思います。また女子教育の点では、今後私立の女子小学校がより希少になっていくであろうなか、その意義を小学部では見出すことができます。たとえばダンゴムシが大好きで、ドッジボールがものすごく強いですが、この役割は共学でしたら男子が担うところだと思います。小学部の子どもたちは思い思いに、自分らしく生きています。



そして同時に、その子らしく生きて他者を受け入れています。

**石澤** 先ほど池田先生がおっしゃった東洋英和の学生の協働力の高さは女子教育の賜物だと思います。協働性とはつまり共感力で、人の心を分かつとしないと言えません。男子教育は、他者との競争を成長の原動力にする傾向がありますが、女子教育は、協働性や安心感のある環境によって子どもたちが伸び伸びする。そこが女子教育の良さです。

### 時代とともに何を変え何を変えざるべきか

**増淵** 東洋英和が世の中に受け入れられるためには、子どもや学生、保護者に選ばれ続けなければなりません。選ばれる学校であること、キリスト教に基づく人格形成を目標とする学校であることは、一周まわって同じところに落ち着くように思いますが、2つを両立させる難しさもあると思います。この点について、

皆さんはどうお考えでしょうか。

**大瀧** 増淵院長が問いかけてくださったことは、今まさに私たちが葛藤していることです。女性の就業率が上がり、家庭を中心しての子育てを選択する方は少なくなっています。かえて幼稚園は、家庭中心での子育てをする保護者が望む園であり続けながら、キリスト教保育につながる層を広げていくこと、その両立が大きな課題となっています。

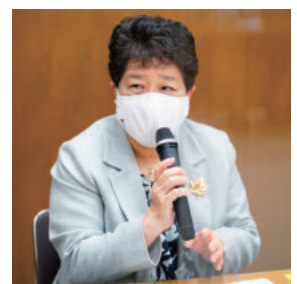
**堤** 東洋英和幼稚園は、東洋英和学院に通う姉を持つ幼い妹・弟のために創立されたため、当初から男児がおり、男女分け隔てなく保育を行っています。ただ男児の保護者の方からは、「小学校でも息子にキリスト教教育を受けさせたい」「辞めたくないけれど諦めるしかない」という声を伺うこともあります。

**山本** 近年、公立の小学校に対しての国の交付金が増え、設備や教育の質が上がっています。そのようななか、あえて子どもを私学の東洋英和に通わせることを選択していたかなければなりません。幸い現状の傾向として小学部を受験なさるご家庭は、東洋英和の目指すところを理解され、わが子には人のために尽くす人生を送ってほしいと望まれています。教育の質を上げる努力は続けながらも、東洋英和として守るべきものは守っていきたいと思っています。

のほ守っていきたいと思っています。

**石澤** 広報や説明会の開催はこれまでも行っており、必要なことですが、教育はマーケットに左右されてはならないと思います。教育は未来をつくる営みで、特に私立学校においては、理想を掲げ、「この学校を出た生徒はこうなります」というロールモデルを提示する必要があります。東洋英和の卒業生は希少なレアメタルかもしれないませんが、でもレアメタルがなければスマホ1つ動かすことはできません。我々は、希少かもしれないけれど貴重な人材を世に送り出すのだ、という覚悟を持って世の中に示していくべきだと思います。

**楠山** 高等部では幅広い選択科目を用意して、将来の進路に必要な科目や興味のある科目を自由に選択できるようにしています。おのずと理系、文系を重視した選択とは異なりますが、音楽や美術を選択して自分の幅を広げることもできます。一人の人格を作るために、クラブ活動



や生徒会なども大切な要素です。勉強だけでなく、いろいろなことができる楽しい学校が東洋英和であることは、これからも守っていきたいと思っています。

**池田** 先ほど、大学は多様だという話をしましたが、学生の親子関係も多種多様です。多くの人に選ばれる大学であるためにも、学生だけでなくその保護者どうコミュニケーションを取っていくかが、現在、また今後の課題になってくると思います。

**柿野** 最後に、増淵院長から本日の座談会の総括をお願いいたします。

**増淵** 短い時間のなかでも、東洋英和の教育の柱や、どういう人格の人間を世の中に送り出したいかということについて、認識の一致がみられたと思います。また、東洋英和の特色やアピールすべき点は、もっと多くの方に知っていただく余地があると思われました。改めて、優れた教育が行われている学び舎だという意を強くした座談の場でありました。



# 『アンのゆりかご』 世界へはばたく

—英訳版 *Anne's Cradle* 完成—

翻訳家・村岡花子の生涯を描いた評伝『アンのゆりかご』が英訳され、*Anne's Cradle* として北米で出版されました。  
村岡花子の孫にあたり、『アンのゆりかご』の著者である村岡恵理さんと、英訳を手掛けた平野キャシーさんに、村岡花子とカナダ婦人宣教師たちの功績や翻訳という仕事の神髄、苦勞、素晴らしさについて語っていただきました。

多くの人の協力で実現した  
英訳プロジェクト

**村岡** 平野さん、本日はご来校ありがとうございます。お話に入る前に *Anne's Cradle* 出版の経緯を、説明させていただきます。2018年5月、東洋英和女学院大学の池田明史学長より、「学院創立135周年 大学開学30周年の記念事業として、『アンのゆりかご』の英訳版を出版したい」というお話がありました。私としても、祖母村岡花子と同時代を生きた女性たちのことや日本の女

子教育、出版事業に貢献したカナダの婦人宣教師の存在を英語圏の人にも知ってもらいたいという思いがあり、そのご提案をととても嬉しく思いました。日本語の本の英訳出版はハードルが高いのですが、国連大使の石兼公博様、モンゴメリ研究家のエリザベス・エバリー博士、同窓生で当時コロナピア大学准教授の彦谷貴子さん、カナダ観光局の半藤将代さんらのご尽力により、カナダのニッバス社出版との話がまとまりました。そして「翻訳をどなたにお願いしよう」となったわけですが、できればカナダ人で、想像力豊かな女性で……と自分なりに希望を考え、国際文化会館図書室長の栗田淳子さん、大先輩の早川書房社長夫人の早川陽子さんにご相談した結果、大変高望みして、平野キャシーさんにたどり着きました。本当に多くの方のご協力あって、この英訳出版は実現しました。ありがとうございます。

**平野** NHK連続テレビ小説『花子とアン』を観ていましたし、ぜひお引き受けしたいと思いました。ですが、ちょうどほかの仕事を抱えているときで、「私のところには回って来ないだろうな」と諦めていたんです。そうしたら、手が空くまで待つてくださるというお返事でびっくりしました。

**村岡** 「平野さんにお引き受けいただけるとはいいくらいでも待ちます」という思いでした。そして約1年後の2020年1月末に学院で初めてお会いして、史料室の資料をご覧いただき、これからは翻訳の過程で出てきた疑問点などには膝を突き合わせて検討させていただくつもりでしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大でお目にかかるのは難しくなっていました。突然のコロナ禍、どういってお気持ちで翻訳を進められたのでしょうか。

**平野** コロナ禍で不安に陥りましたが、戦時中の言論弾圧のなか、翻訳し続けた花子さんの信念に大きな力をもらいました。翻訳は孤独な作業ですが、花子さんが応援してくれているに違いないという気持ちでした。翻訳するときは登場人物の気持ちになりきる一方、文章を客観的に見る必要があります。今回、親戚や友人などに英訳文を読んでもらいましたが、コロナ禍で皆さん家にいたからお願ひできたことだと思います。そのなかで、「なぜ日本人は、自分の子どもを簡単に手放してほかの人に預けるのか？」といった思いもよらない質問が彼らから来ました。

**村岡** 平野さんに、ひとこと説明を加えたらどうかとご提案いただき、なるほどと思いました。子どもを養

## 対談者



### 村岡 恵理さん

作家。村岡花子を祖母に持つ。1986年高等部卒業。著書に、NHK連続テレビ小説「花子とアン」の原案となった『アンのゆりかご 村岡花子の生涯』（新潮文庫）など多数。



### 平野 キャシーさん

国際基督教大学卒業後、1984年より翻訳家として活動。上橋菜穂子『精霊の守り人』、近藤麻理恵『人生がときめく片づけの魔法』など、国際的ベストセラーの英訳を手掛ける。香川県高松市在住。



村岡恵理『アンのゆりかご 村岡花子の生涯』（新潮文庫刊）

#### 翻訳の役割は 二つの文化の橋渡し

子に出したり、貧しくて子どもを売るといふ状況は、日本人であっても現代では理解し難いことなのに、文化が違えばなおさら理解できませんよね。

平野 既に完成されている作品に対して、自分の意思で何かを付け加えることは、できるだけ避けたいと思っています。しかし、補足しないと伝わらないこともあり、翻訳者として常に葛藤があります。ただ今回は

著者である村岡さんに直接相談ができ、東洋英和女学院大学名誉教授のバトリシア・スイツベル先生や史料室の方々にも手助けをしていただけたという、翻訳する上でほんとうに恵まれた環境にありました。

村岡 巻末の注釈についても、いろいろと提案をいただきました。例えば、英語圏の人たちに対しては詩人のアルフレッド・テニスの説明は不要だけれど、反対に、大正デモクラシーといった日本の近代史の歴史的背景については補足する必要がありますとあったことです。

平野 「家庭文学」という言葉の訳にも迷いましたが、シンプルで伝わりやすくしたかったので、カナダのサイモンフレイザー大学の教授とも相談した結果、「family literature」としました。また、第二次世界大戦が始



#### *Anne's Cradle: The Life & Works of Hanako Muraoka, Japanese Translator of Anne of Green Gables*

Nimbus Publishing

学院創立135周年、大学開学30周年の記念事業として行われた、『アンのゆりかご 村岡花子の生涯』の英訳版。日本、カナダの多くの方々との協力により、2021年5月31日、カナダのNimbus Publishingより発売となった。

まったときには、東洋英和に天皇陛下の御真影を飾ることになり、「ミッション・スクールにとっては、踏み絵を踏んだに等しい」という一文があります。英語圏の人は踏み絵が何かを知りませんから、どう表現すべきか悩みました。英語で、違う言葉で言い換えることはできませんが、言葉を変えると失われるものがあると思います、そのまま「踏み絵」とし、言葉のあとに踏み絵の説明を挿入することにしました。

村岡 一つひとつの言葉を検証していく努力という意味では、祖母の翻訳においても当てはまる部分があったと思います。『赤毛のアン』が出版されたのは戦後の昭和27年で、日本はまだ貧しく、今ほど欧米文化が浸透していませんでした。そうしたなかで「ラズベリーコーディアル」

を「いちご水」、「パッチワーク」を「刺し子」と訳しています。また、「教会員」は「教会の檀家」としていました。平野さんのお姿を見て、祖母も悩みながら、当時の日本人に伝わる訳を探したんだろうなと思います。

翻訳は異文化をつなぐ作業ですから、二つの異なる文化や社会、歴史的背景、それぞれの国に暮らす人々のことを、愛を持って理解しようと努めなければいけないことです。平野さんとのやり取りのなかで、翻訳とは、単純な言葉の置き換えでないことがよくわかりました。

**平野** 花子さんは、自分が英米文学に育てられた経験から、日本の多くの人にもそれを読んでもらいたいという思いを持っておられたのだと思います。それは日本の子どもたちへの愛情であり、英米文学を教えてくださいましたカナダの婦人宣教師への感謝の気持ちだと思えます。私も日本に来て、日本の文化に触れることで、自分のなかにさまざまな偏見があることに気付かされました。異なる文化とぶつかりながら、自分の見方が全て正しいわけではなく、多くの日本人との交流を通して、いろんな見方があることを知りました。『アンのゆりかご』の翻訳を進めるなかで、私が日本で経験したような、異なる視点から物事を見る機会を海外

の人にも与えてあげたいと思いましたが、ちょっと傲慢かもしれません。そんな気持ちになりました。

### 時代、国によって異なる 翻訳者の立場

**村岡** 改めてお伺いしたいのですが、平野さんはなぜ来日し、翻訳者になられたのですか。

**平野** 日本に来たのは留学などではなく、高校時代の日系人の友人に「日本に行こう」と誘われたのがきっかけです。私は「地球は一つの国であり、人類はその市民である」というバハオラ（バハイ教創始者）の教えを生きる指針にしていますが、この言葉の意味を理解するには異国に行かないとわからないだろうと思いましたが、当初は日本語を1年でマスターしたらほかの国に行こうと思っていました。1年でマスターできるはずはなく（笑）、もつと学びたいと、国際基督教大学で文化人類学を専攻しました。そして卒業後も日本に残り

たいと思いましたが成す術もなく途方にくれていたら、同級生が「私の担当教授が翻訳のできる人を探しているよ」と声を掛けてくれて、土木技術の会社で開発プロジェクトのレポートなどの翻訳を始めました。最初は自分に翻訳ができるかどうかもわからない状態でキャリアをスタートしたんです。その後はフリーランスになり、出版社に勤めていた大学の先輩のつながりで児童文学の翻訳も手掛けるようになりました。ですから、人とのご縁によって翻訳の道に導かれたといえますね。私は本を読むのが大好きですから、翻訳は天職だと思っています。

**村岡** 翻訳の仕事の素晴らしさは、どのようなところにありますか。

**平野** 一冊の本の翻訳を通して、さまざまな考え方や生き方に触れられることです。幅広いことを学べて、自分自身も成長できる仕事だと思います。ただ、日本における翻訳者の社会的地位は高く、「この翻訳者だ

からこの本を買おう」という読者がいますが、英語圏では翻訳本を出版してもらうこと自体が大変です。ここ10年で状況が少しずつ変わってききましたが、英米文学に良い作品がたくさんあるから、外国語の作品をわざわざ翻訳して出版する必要はないという考えが根強くあるんです。それではいけないと、翻訳者同士で協力し合い、出版社に対して働きかけをしています。出版された本に翻訳者の名前が載らず、あまりお金にならないことも多いです。花子さん

も翻訳以外に執筆などの仕事をしていましたが、児童文学の翻訳だけで生計を立てることはまだまだ難しいのが実情です。

**村岡** 今回平野さんに翻訳を依頼したとき「条件はありますか？」とお伺いしたところ、「名前を載せてください」と言われて驚きました。当然のことだと思っていました……。

**平野** カナダでは当然のことではないんですよ。ですが、花子さんの時代には家庭文学というジャンルがなく、その翻訳が職業として確立していなかったと知りました。花子さんは、日本における家庭文学の翻訳の先駆者であり、翻訳者の社会的地位を獲得するという偉業をなし遂げたのだと思います。

**村岡** 今の時代は多様性が重視され

ていますから、知らない考えや価値観が描かれている外国の本を訳し、自国に紹介していく翻訳者の仕事はますます重要になっていきますよね。

**平野** 世界がほんとうの意味で平和になるためには、互いに理解するだけでなく、互いの違いを尊重する必要もあります。今回の英訳出版は、時代は違っても、花子さんの生き方考え方を通して、異なる考えや価値観を尊重することの大切さを英語圏に紹介してくれる本だと思います。

### 英訳を通して 改めて見えてきたもの

**村岡** この本には祖母の短歌や歌人の柳原白蓮さんとの手紙のやり取りなど、花子自身が書いた文章がたくさん出てきます。こうしたところの訳にも花子の内面や人間性がよく表れていて、繊細かつ情熱的に読み手に伝わっているようです。まさに平野さんの翻訳の力量、想像力の賜物だと思えます。モンゴメリ研究の第一人者であるエリザベス・エパリー博士も、平野さんの翻訳の素晴らしさに感激されていました。

**平野** ありがとうございます。とても嬉しいですね。海外で評価されている私の英訳本は全て、作家と密にコミュニケーションできた作品です。私がいくら想像しても、作者の意図



に合っているかどうかは完全にはわからず、勝手に踏み込んで訳すことはできません。やはり、著者の村岡さんと対話しながら翻訳できたことがとても大きいです。また『アン・のゆりかご』の素晴らしさは「花子さんの目」を通して描かれているので、客観的な歴史書とは違い、読み手を物語に引き込み「もっと知りたいたい」という気持ちにさせるところです。英訳版を読んだ私の友人は、日本に興味を持ち、インターネットなどでいろいろな日本のことを調べているようです。

**村岡** 嬉しいですね。北米の英語圏の人たちが日本の近代史にどれほどの興味があるのか未知数でしたし、反応も予測できませんでした。今回海外メディアからもインタビュウの依頼や質問が来しました。そのなかで、衝撃的だったのは、宣教師の活動をこんなにポジティブに捉えたものを初めて読んだという反応でした。そうした反応から、近年、カナダ国内では過去の聖職者たちの少数民族の人々に対する差別的な行為、虐待が大きな問題になっていることを知りました。祖母の時代のキリスト教宣教師の布教活動も植民地政策の片棒を担いだとされ、国内の事例と同一視されがちで、猛省する動きがあることを初めて知りとても驚きました。



※対談は2021年10月15日に  
行われました。  
※撮影時のみ、  
マスクを外しています。

東洋英和の教育の現場には情熱を持った宣教師の先生方がいて、生徒たちとの温かい心の交流があったという事実もあります。そんな素晴らしきカナダの婦人宣教師の先生がいたことを、発信しなければいけないと思いました。英訳版の出版は、微力でも、その点で意義があったのではないのでしょうか。

**平野** カナダの婦人宣教師たちが、つたない日本語で桃太郎の劇をしたり、着物を着たりと、日本の教育や文化を尊重していることが物語のディテールから伝わってきました。私のカナダの友人のなかには、村岡さんがおっしゃったような過去の歴史に心を痛めている人もいます。でも、この英訳版を読んで、愛を持って教育を行った宣教師の先生もいたと知って慰められたと言っていました。また、私が心打たれたのは花子さんの人間性です。お母さんが亡くなったとき、結婚してクリスチャンになったけれど、もともと仏教徒だ

つたお母さんを思い、仏式の葬儀をしています。急進的な思想を持った女性文化人のことも、こういう人と決めつけず、良い面も見る心の広さがあります。こうした花子さんの思いやりや愛情は、東洋英和で豊かな心を育てる教育を受けたからなんですよ。

**村岡** 私は、在学中は伸び伸びと過ごし過ぎて、学校の歴史を振り返ることもなく、こんなにいい学校だったとは気づきませんでした……。卒業した後で初めてわかることもたくさんあるものですね。そういう意味においては、実は祖母も、在学中はある種の違和感、居心地の悪さを感じていたのではないかと思います。純粹で真っ直ぐな英和生に囲まれ、給費生の自分が異分子であることをより自覚させられたかもしれません。卒業後、関東大震災や息子の死に打ちのめされ、そして日本が開戦に向かっているとき、友人であるカナダ人宣教師のミス・ロレッタ・シヨ

から『アン・オブ・グリーン・ゲイブルス』を手渡され、ようやく自分が東洋英和で学んだ意味を知ったように思います。

**平野** 教育はあとになってみないとわからない、種まきのようなものですね。先生方は、自分たちが教えたことが生徒たちのなかでどう育まれるか、花開くところはなかなか見られないんですよ。

**村岡** おっしゃる通りだと思います。祖母が翻訳し、出版された『赤毛のアン』は、戦後の日本で花開き、多くの読者に読まれ、若い人たちの希望になっていきますが、恩師であるミス・ブラックモアはその様子を見られませんでした。ミス・シヨも亡くなっており、見られませんでした。『赤毛のアン』の誕生までには、長い道のりがあったのだなと思います。今、本を読む子どもが減っていると

聞きます。特に翻訳文学は読まれなくなっているようですが、他国の歴史や人々の精神文化を理解するためにも、翻訳文学が読まれ続けてほしいなと思います。

**平野** 花子さんもおっしゃっていますが、子どものころに読む本は疑似体験であり、豊かな心を育ててくれます。言語は問わず、良質な児童文学が広く翻訳され、出版されることを願っています。今回の英訳プロジェクトのお陰で、自分の人生において意義のある、糧になるような時間が得られました。村岡さんをはじめ、力を貸してくださった皆さん、どうもありがとうございます。

**村岡** 今回平野さんが丁寧に読み込んでくださったことで、自分だけでは知りえなかった発見があり、多くの学びがありました。平野さん、本日はどうもありがとうございました。



「学院資料・村岡花子文庫展示コーナー」にて

# From the Garden of Kaede



## 夢中になる

～ 2021年度の生活から～

### 1. 砂場

砂を掘り上げ山を作り、川を作りました。  
トンネルを掘って水を流しました。  
「トンネルつながったね」「水をもっと流そう」

### 2. 積み木

積み木をたくさん運んで電車ができました。  
「みんなで乗ろう」

### 3. ダンス

年少組はダンスが大好きです。  
アヒルのダンス、ホーキーボーキーを踊りました。  
「次はサメのダンスを踊りたい」

### 4. 鉄棒

毎日、毎日鉄棒の練習をしているAちゃん。  
「もうすぐ、わたしができるようになるよ」



上/「おさるとぼうしうり」のやりとりを楽しむ子どもたち  
下/毛糸を使ってしっぽを作っている子どもたち

「おさるとぼうしうり」の劇遊びとダンスが大好きに  
〜2021年度年長組1学期の保育より〜

担任 中川光子

年

長組は、昨年6月7月に絵本館書店 作/絵 エズフィール・スロポドキーナ)のお話が好きになった子どもたちとサルの実験や劇遊びを楽しみました。子どもたちは初めのうちは、サルの家族となって、木を渡るような動きをしたり、バナナや木の実を作って食べたりする遊びをしていました。毎日少しずつサルになりたい子どもが増えています。子どもたちは自発的に遊ぶ時間にもクラスでの集まりでもサルになることを楽しんでいました。6月の誕生日会では保育者と6月生まれの子もたちで「おさるとぼうしうり」の劇遊びをしました。

遊びの中で保育者がぼうしうりになって歩き出すと、「やるやる！」

と言ってサルの仲間がどんどん増えていきます。年長組の部屋には、子どもたちが色を塗った麦わら帽子が置いてありました。劇遊びに入りた

い子どもは急いで自分の帽子を取ってきてぼうしうりに渡します。それから自分で作ったサルの耳や尻尾をつけます。耳は画用紙で作り、尻尾は新聞紙を細くし毛糸を沢山括り付けた物です。自分の尻尾を立派にしたくて長い時間をかけて子どもたちは毛糸を何本も何本も結びました。「また続き」と何日もかけてふさふさにした子どももいました。このお話の魅力はサルがぼうしうりの真似をするところです。ぼうしうりが「帽子をかえせ」と手をふりあげると、サルも手をふりあげ「ツーツー」と真似をします。子どもたちは何度も何度も繰り返してその場面を楽しみます。

その姿が可愛らしく楽しかったので、保育者がサルの動きを取り入れたダンスを作りました。ある時、子どもたちにそのダンスを紹介すると大喜びで、生き生きと一緒になつて踊りだしました。その後、夏の夕涼み会の夜まで、保育室でも庭でもホールでも、子どもたちは「やりたい、やりたい」「おどりたい、おどりたい」とサルのお話やダンスを繰り返して楽しみました。

泥粘土を楽しむ子どもたち

担任 伊藤智春

か

えで幼稚園では、自分の選んだ遊びに夢中になって取り組む時間とともに、保育者が計画した子どもたちと楽しむことや子どもたちに今経験してほしいことを庭やホールや保育室で共にする集いも大切にしています。ある日の年中組の集いでは、ホールに大きなレジャーシートを敷き、泥粘土を楽しむ遊びをしました。泥粘土とは、素焼きに使われる粘土です。子どもたちはブルマースをはき、裸足になりました。保育者が子どもたち一人ひとりに泥粘土を渡しました(泥粘土約1kgを立方体に整えたかたまりです)しりと重さを感じます。子どもたちは泥粘土を手で持つと、「おもしろい」「つめたーい」「きもちがいい」とそれぞれに声を上げ感触を楽しんでいました。

保育者が顔の高さから泥粘土をシートに落とすと、ドスンと低い音が響きます。子どもたちも「いち、にの、さん」で一斉に泥粘土を床に落とすと、音とともに、形が変化した粘土におもしろさを感じ「うわあー!」「形が変わった!」「楽しい!」

と言います。何度も何度も床に落とすと、粘土は四角い形からだんだんと平べったい形に変わっていき

ます。子どもたちは平べったくなった粘土の上で、足踏みやジャンプをしてさらに薄く伸ばしていき

ました。「薄くなってきた」「べらべらになった」と喜んで続けます。Aちゃんは泥粘土で足を包み込み靴のようにして歩いていました。粘土がペラッと足からはがれると手を使って再び足につけて「よし!元に戻った」と言う、歩き回ります。Bちゃんはくるくると丸めてながながと伸ばしていました。手のひらを動かしながら、へびのように長くなつていく粘土が切れないようにもくもくと、慎重に伸ばしていききました。しばらくして、粘土が細く、長くなると、「Bちゃん

は「見て!こんなに長くなったよ」。へびみたい」と満足そうに笑みを浮かべていました。子どもたちも保育者も泥粘土に触れることに夢中になり、体も心も開放されるひとときでした。組の友だちと保育者と楽しむ体験が子どもの遊びを豊かにしていきます。



右/「長くなったよ」と泥粘土を細長くして道を作っています  
左/泥粘土の感触を楽しむ子どもたち



神さまにお祈りしながら野菜の成長を見守る子どもたち

幼稚園の野菜栽培

担任 山本麻紀

子

どもたちは小石や草花を、「大根・お芋・白菜」などと野菜に見立てて遊んでいます。野菜に興味を持ち、食の幅が広がればと思いつながらも、今年度も新型コロナウイルス感染症予防の生活が続いており、飲食に関しては慎重になります。特別におやつ作りや料理が難しく、少しでも親しみが持てるようにと、野菜



「トマトが赤くなった!!」

「こんな人参ができますように……」



の栽培をしています。暖かな春、園庭の畑にサツマイモの苗、赤シソを植えました。プランターにはミニトマトの苗や人参・大根・ラディッシュ等の種をまき、小さい手を合わせ神さまにお祈りしながら成長を見守りました。少しずつ大きくなってきたところで、葉っぱに穴が空き始めたものもありましたが、子どもたちは「青虫さんがお腹いっぱいになってよかったね」「おいしくてやめられなかったんだ」と目をキラキラ輝かせてつぶやきます。今までの経験から収穫時期を計算し、早めに植え付



けをしたものの、自然気象にはかなわずトマトは夏休み中にたくさんの実をつけました。9月になりサツマイモの蔓が伸びて葉が生い茂ります。良く見るとまた葉に穴を見つけました。葉や茎と同色のイモムシの大量発生です。葉の裏側につき、捕まえようとするともぞもぞ逃げてしまいます。子どもたちはジッと見つめては何匹も捕まえます。サツマイモの成長を妨げる天敵ですが、大切に飼育箱の中に入れて眺めていました。秋に再度ラディッシュの種まきをしてから1週間。芽が出て葉っぱを



上/「お芋の蔓を うんとこしょ」  
下/今年のサツマイモは豊作です

間引くと、白いキノコが出てきました。子どもたちは驚きながらも「ラディッシュと友だちになりたかったのかな?」「秋になったよとお知らせしてくれた」と表現しています。野菜の栽培は収穫の喜びもありますが、成長過程のハブニングや日々の気付きを経験することで、見守る心が育ちます。自然の営みは計画通りにはいかないことがたくさんありますが、小さな発見を共有し子どもたちの豊かな表現に耳をすませ、探究心を持ち続けることで親しみへとつながっています。



上/ Ewha 校内に設置された、英和との交流の歴史パネル  
下/ Pen Pal Liveの様子

大切な絆

英語科教諭 町田 協子

**小** 学部では英語科を中心に、韓国ソウルにある梨花女子大学

附属初等学校 (Namsang) との交流を大切にしています。2003年に送った有志の手紙をきっかけに、高学年のペンパル・プロジェクトが開始され、さらに毎年交互の訪問へと発展してきました。長年の英語科での交流の実績により、2014年には小学部初の姉妹校締結の運びとなりました。お互いに外国語として英語を学ぶ国の児童との交流を通して、英語を使って世界が広がることを体感し、国は違っても神さまの愛を受けて祈り合い、平和をつくり出す人になる歩みを

積み重ねてきました。

しかし2019年度(2020年3月)に予定されていた5年生有志による韓国訪問は、コロナ禍により中止となってしまいました。

翌2020年度はEwha児童を迎える番でしたが、海外との自由な往来は引き続き不可能でした。しかし、大切にしてきた貴重な交流の機会を違う形で何とか実現できないか、両校英語科教員で何度も検討を重ねました。そこで生み出されたのが、初のオンライン交流「Pen Pal Live」です。前年度訪問が叶わなかった6年生全員に、Zoomを使ってペンパルと顔合わせができる機会を設けることとなりました。韓国とは時差がないのでオンライン交流が簡単に設定できると思われる方がいらっしゃるかもしれませんが、しかしながら、両校の日程に始まり、英語授業が行われる曜日も時間もクラス構成もさまざまな点から、両校にとってよい時間を設定することは簡単ではありませんでした。何回も打ち合わせを重ね、2021年1月末、4日間にわたるZoom交流が実施されることになりました。

いよいよ当日を迎え、

今まで手紙や写真を送り合ってきた

ペンパルと実際にZoomを通してライブで挨拶し合う姿を見ると、感慨深いものがありました。緊張してうなずくことが精一杯の児童もいれば、画面いっぱい笑顔で活発にやり取りができた児童もいました。終了後は、ペンパルにライブでお会いできた喜びと充実感にあふれた笑顔が教室いっぱい広がっていました。「もっとお話したかった」「緊張しただけど楽しかった」「画面越しでもお会いできて嬉しかった」「ペンパルが用意してくださった発表が素晴らしいかった」「Ewha生のダンスが面白かった」等々、口々に楽しそうに感想を述べ合っていました。Ewha生からも「Very happy and fun!」「So nervous and happy.」「I'm soooo excited.」「It was really fun!」などの嬉しそうな感想(原文のまま)が寄せられました。

近い将来、諸々の状況が許されれば、児童の交互訪問が復活することを願っています。一方で、昨年度のオンライン交流で新しい可能性も広がりました。訪問は有志に限られませんが、オンライン交流は該当学年の児童全員が参加することができ、また、児童同士の交流だけでなく、両校教員間の打ち合わせも従来はメールが行き交っていました。ZoomミーティングやGoogle Drive

での資料共有

等、多様な手段により、更に充実した交流が行われるようになり、両校の様子も共有できるようになりました。英和からはクリスマスはクリスマス、お知らせした通り、Ewhaからはクリスマスコンサート動画を送っていただいたりもしました。

今後どのような交流の機会が設けられるか、Ewhaの教員と検討を重ねているところです。その根底には、困難な状況でも、神さまが導いてくださった両校の絆を大切にしていきたいとの両校教員の思いがあります。Ewhaでは英和との交流の歴史を大きなパネルにして、廊下の壁面を飾ってくださっています。そこには口ママの信徒への手紙8章28節の聖句が記されています。「神を愛する者たち、つまり、御計画に従って召された者たちには、万事が益となるように共に働くということ、わたしたちは知っています。」み言葉に支えられ、益々発展した交流となるよう願って歩む日々です。



Pen Pal Liveの様子

2021年度も、12月中旬に更に充実した内容で第2回 Pen Pal Liveを行うことができました。

## 野尻キャンピング六本木

理科教諭  
キャンピング委員長 後藤 洋子

2

021年7月1日、コロナ禍により本年度のすべての野尻の行事が中止になることが発表されました。前日の打ち合わせで、卒業生リーダーに野尻キャンピングの中止を伝えたときの彼女たちの落胆は激しく、しばらくショックで何も言えない状態でした。しかし、中高部の校舎は使えるということと、キャンピングを楽しみにしていたキャンパーたちをがっかりさせたくないという気持ちから、8月9日と10日に学校で野尻キャンピングに代わる行事をやるということになりました。

野尻キャンピングは東洋英和の中高部で50年以上続いてきた行事ですが、こんなにも愛された行事である理由は、参加したキャンパーが野尻の魅力を知り、それを後輩にぜひ伝えたいとキャンピングリーダーになり、そしてキャンピングリーダーとしてキャンパーに野尻の魅力を伝えていくというバトンの受け渡しが行われてきたからです。昨年に引き続きキャンピングが2年連続開催されないということは、このバトンが途切れてしまい、伝統あるキャンピングの存続が困難になって

しまいます。

学校での代替行事開催が決まってきた卒業生リーダーの動きは素晴らしいものでした。プログラムの内容はリーダーが中心となって考え、6日間のプログラムを、2日間のものに組み直し、キャンピングや水上プログラムの代わりにするようプログラムを考えました。大学の授業の合間を縫って英和に集まり、何回も打ち合わせを重ねました。あまりに遅くまで相談しているので警備の方に心配されるほどでした。我々教員はプログラムに必要な物品の手配、活動場所の確保、プログラムの相談に乗ることはしましたが、立案計画のほとんどをリーダーに頼ることにしました。本当に感謝です。

### キャンパーの絆づくり

野尻でのキャンピングと同じように朝は礼拝が始まり、1日目の午前中はリーダーが考案した逃走中ならぬ「逃走中」(新型コロナウイルス感染予防として、息が上がるような運動は控えるため)を行いました。これは、キャンピングのメンバーで協力して校内を回りながらリーダーからのミッションを行うものです。野尻キャンピングではキャンピングといったら、キャンピングごとに野尻湖を徒歩やカッターで一周するプログラムがあります。



チャレンの野村総先生を発見した  
キャンピングにはボーナスポイントがもらえます

逃走中ではリーダーからのミッションを、  
キャンピングのメンバーで協力してクリアします



キャンピングで一日共に行動することによって学年もクラブも違うキャンピングのメンバーがお互いを知り、絆を深めていきます。キャンピングにおいて大切なものの1つが、キャンパーたちの絆です。普段は話さないような人と、野尻を通じて知り合い、共に助け合って生活していく、そのような機会をキャンパーに与えるためにリーダーはこのプログラムを考えました。

### 野尻の楽しみ方・ ルールの伝承

2日目は炎天下の中、濡れても良い服装に着替えてグラウンドで水遊び。それまたただの水遊びではなく、リーダーたちが趣向を凝らしたゲームの数々でした。額につけた的を狙う水鉄砲合戦や、クイズに正解できないと目の前で水風船爆弾が破裂するというスリル満点のゲーム。六本木なのに、湖もないのに、まるで野尻にいるかのように生き生きと楽しむキャンパーたち。野尻では、天候によって予定していたプログラムが中止になってしまうことがよくあります。そんな時、リーダーは歌やレクでキャンパーを楽しませてくれます。臨機応変に、その場で楽しめることを見つける、このような野尻の楽しみ方をキャンパーに教えてくれました。

野尻では朝晩、プログラム開始の鐘の音が鳴ります。当日も部長先生が教会から鐘を借りてきてくださり、鐘の音で時間を知らせました。始めのうちは集合時刻に遅れてくるキャンパーがいましたが、リーダーの「野尻では5分前集合だよ」の声掛けで、徐々に時間が守られるようになりました。また、高2、高3生が率先して動き、準備や片づけを行うのを見て、自然と下級生たちも真似をして自

リーダーが寸劇で盛り上げます



水上プログラム代わりの水遊び。水鉄砲で相手の額の的を狙います

発的に動き始めるようになり、皆で声を掛け合って協力して生活するという、野尻での生活スタイルが少し身についたように感じました。

### リーダーの想い

クロージングファイヤーの後、お世話になったリーダー、高3キャンパーに感謝を伝え、必ずまた野尻に帰るという約束を互いに交わして解散しました。



集会室でクロージングファイヤー

### リーダーメッセージ

本当に大成功だったと思います。先生方も気を配ってくださいくださったおかげで熱中症の生徒も出さず終えられてとても良かったです。キャンパーたちも「2日間だったけど野尻にいるかと思った！」と最後のキャンピングで語ってくれて、本当に開催して良かったと感じました。高2のキ

キャンパーの中には「来年も頑張ってるそうね」と話している子たちがいるそうで、とても嬉しく思っています。(大学4年生リーダー)

無事、キャンプを終えて思うのは、5年間ずっと、英和を卒業してから、キャンパーとして感じた野尻への愛を、リーダーとして受け継いできた先輩方の存在があることの偉大



来年はきっと野尻で

さです。制約が多く、困難な状況下でも、学年の違うリーダーたちが一丸となって、野尻キャンプを実施することに必死になれたのは、どうしてもキャンパーに伝えたい野尻の雰囲気というものが、リーダーの中に共通認識としてあったからこそです。前例がなく、大変ではありましたが、運営する側としても、非常に楽しかったです。(大学3年生リーダー)

『アンゆりかご』  
村岡花子の生涯  
英訳本刊行に寄せて

大学学長 池田明史

◆ 一般、本学院の誇る先達・村岡花子女史の伝記『アンゆりかご』

『アンゆりかご』(初版マガジンハウス、2008年)が英訳され、*Anne's Cradle: The Life & Works of Hanako Murakami, Japanese Translator of Anne of Green Gables (Nimbus, 2021)* というタイトルの下に上梓される運びとなりました。この翻訳事業は、学院創立135周年・大学開学30周年の節目の年となった2019年に、これを記念する周年事業の一環として企画されたものです。花子女史の没後、村岡家のご厚意によって、女史の訳書である『ハックルベリー・フィンの冒険』『丘の家のジェーン』『フランダーズの犬』『クリスマス・キヤロル』(いずれも新潮文庫版)の4作品の著作権は本学院に寄付され、6,200万円以上にのぼる印税は教育活動に活用されてまいりました。このご芳志に対して、学院として感謝の思いを周年事業において具体的な形として表すことができないか、との発案がありました。あれ



『アンゆりかご』翻訳事業調印式にて

これと検討を進めた結果、女史のご令孫にあたる村岡恵理さんのご高著である『アンゆりかご』を英訳して、アンゆりかごの地・カナダをはじめ、広く欧米の読者に周旋するのはどうだろうという構想が浮上したのがこの発端になります。

「135+30」の名称を冠して、2019年にはさまざまな周年記念行事が展開されましたが、同年中に実施された最大のイベントは秋の国際講演会でした。日本近現代史の泰斗として著名な米国コロンビア大学のキャロル・グラック教授を招聘し、学生・生徒を含む学院内外の関係者に対して「世界を変える女子教育」をテーマにご講演を賜るといふ、きわめて貴重な機会を準備し提供できたことは、本学院にとってまことに幸運だったと思います(この講演の記録は『近代日本における女

子教育と東洋英和』として冊子にまとめられています)。グラック教授をお迎えして国際文化会館でささやかなレセプションが執り行われましたが、『アンゆりかご』英訳プロジェクトは、その場において講演会と並ぶもう1つの周年記念の目玉事業として公式にキックオフが宣言されたのです。ちなみに、グラック

教授の基調講演に引き続き、同教授を囲んでパネル・ディスカッションが持たれました。パネリストは同教授のほか、村岡恵理さんと彦谷貴子さんでした。彦谷さんは、村岡さんの東洋英和(中学部・高等部)時代のご学友で、当時コロンビア大学の客員准教授としてグラック教授と親交があり、同教授の招聘に際して仲介の労をお取りいただきました。のみならずこの翻訳事業においても、カナダの出版社との契約を取り持っていたという経緯もあります。このようにして船出した『アンゆりかご』英訳プロジェクトは、翌2020年以降の新型コロナウイルス(COVID-19)が世界中で猖獗をきわめるといふ、降って湧いたかのようなパンデミックのただなかにも関わらず順調に進められ、

2021年5月に無事刊行されるに至りました。もとよりこの種のプロジェクトの評価が、最終的な成果物である英訳の「質」に左右されることは言を俵ちません。この点で、日英の両語とそれぞれの文化的・歴史的背景に通曉されている平野キャシーさんを翻訳者として与えられたことは、このプロジェクトにとって最大の僥倖だったと思います。邦文原著の『アンゆりかご』それ自体が平易簡便にして達意の筆致で著述されているということもありますが、その原文に忠実に寄り添いながら、しかも英語話者の感性に的確に訴求するこなれた英文に訳出されている事実は、まさしくこの翻訳者の力量を物語っているとさえ言えます。

『アンゆりかご』は、村岡花子女史一人の伝記、あるいは東洋英和の揺籃期の記録という次元を超えて、明治後期から大正・昭和にかけての近代日本の一般社会史や庶民風俗史、女性史を辿る上で多くの示唆に富む著作であり、その英訳は時代の趨勢や雰囲気海外の読者にもありありと伝えるものとしてその史料的价值は高く評価されています。『アンゆりかご』プロジェクトの所産としての*Anne's Cradle*は、読み物としてだけでなく、英米世界の日本研究者にとっても1つの福音になるものと確信しています。

後援会会長  
就任にあたって

後援会会長  
井上貴之



娘たちの原点

この度、牧会長の後任として学院からのご推薦並びに役員会での承認を賜り、後援会会長の大役を仰せ付かりました井上でございます。

2005年の長女の小学部入学以来、2009年に次女、2011年には三女が続いてご縁をいただき、私共夫婦も東洋英和生の保護者として16年目を迎えております。

後援会は幼稚園から大学までの保護者から成り、敬神奉仕の教えのもと「楓の会」を通じて東洋英和に縁を持つ全ての方々と心一つに学院の発展を支える組織となっております。

しかしながら、六本木地区再開発事業も道半ばであると共に、昨今のコロナ禍において子どもたちの教育環境整備等後援会の役割も多様化しております。私といたしましてはまずは後援会の最も重要な役割である学院の教育充実助成支援については引き続き軸として尽力すると共に、新型コロナウイルスの流行によって新たに生まれた課題に向き合っていくたらずと考えております。このような時に私のような未熟者がどこまで貢献できるのか不安も尽きませんが、精一杯務めさせていただきますので後援会に関わる全ての皆様の変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

長女は高等部1年の途中でアメリカの高校に留学し、現在はイギリスの大学に在学しております。東洋英和を離れてから7年もの月日が経ちますが、帰国するたびに東洋英和の友と学校を訪ねては講堂で祈りを捧げて心を落ち着かせ、自分の原点に戻ることができると申しております。東洋英和が娘たちの原点であるかけがえのない場所であり続けられる一助となることを願い、就任の挨拶とさせていただきます。

後援会会長  
退任にあたって

前後援会会長  
牧健太郎



感謝とともに

2021年3月に娘が高等部を卒業し、6年間にわたり務めさせていただいた後援会の常任役員（会計監事、会長）を辞することとなりました。無事に務めを果たすことができましたのも、後援会活動を細やかにサポートいただいた学院事務局の方々、共に活動した常任役員の方々の御協力、そしてすべての後援会員の皆さまのおかげです。ありがとうございました。東洋英和幼稚園（入園当時、女子は2年保育でした）に娘がご縁をいただき、敬神奉仕の教えとともに過ごした14年間は貴重な時間でした。

長年にわたりご指導いただいた学院の先生方、鳥居坂教会で娘の成長を見守り導いてくださった張田先生・野村先生に心より感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症の流行により2020年の春から退任までの期間は十分な後援会活動を行うことができませんでした。会長であった私の力不足を痛感するところですが、学院の教育充実助成支援（楓基金、設備投資費用、大学花子プロジェクト奨学金助成、大学生修学支援奨学金助成、中高部村岡花子基金支援金助成、東洋英和楓の会助成等を目的とする寄付）という最も重要な後援会活動は継続して実施することができました。

学院の経営環境や子どもたちの学びの環境は今後も変化し続けますが、東洋英和女学院の活動をお支えするという後援会の活動目的は不変です。新たに会長に就任された井上様のもとで、継続した後援会活動が行われるだけでなく、以前にも増して、一層充実した活力ある後援会の体制が築きあげられるものと確信しております。神様の祝福と見守りを信じて歩む、東洋英和女学院にご縁をいただいたすべての方々の人生が充実したものとなることを祈念して、最後の挨拶とさせていただきます。

## Cartmell's Prayer



## 小学部のキリスト教教育 どこを切っても「敬神奉仕」

創立以来、東洋英和女学院が大事にしてきたキリスト教教育。

前号の東洋英和幼稚園に続き、

今号では小学部のキリスト教教育と活動をご紹介します。

### 小学部では、教職員皆がキリスト教教育の担い手です



非常勤講師として小学部に勤務された先生から、こんな評価をいただいたことがあります。「どこを切っても金太郎飴のように、小学部には『敬神奉仕』の精神が満ちている」。小学部が今そうであるとしたら、それは長年小学部は専任の聖書科教諭を置かず、皆がキリスト教教育の担い手であったことに起因すると思います。クラスの礼拝などを通し、先生たちは日常的に自分の言葉で聖書の教えを伝えていました。その後聖書科教員が置かれることになっても、キリスト教教育は聖書科にお任せ…ではなく、皆が自覚的に担うという良き伝統が残っているのです。



小学部のパイプオルガンはオランダのライル社製。2006年に奉獻されました。講堂の形状に合わせたL字形で、校章が飾られています

キリスト教教育は礼拝・聖書科授業・キリスト教行事のときだけなされるわけではありません。国語、生活科、理科、英語などなど、聖書以外の授業や学習活動の中で、夏期学校など年間のさまざまな行事で、また日常的な触れ合いの中で、時をとらえてみ言葉に耳を傾けること、神さまのお心を問い、神さまを賛美することがなされています。何と言ってもいつも一番近くにいる担任の先生、専科の先生が語ってくださる神さまのこと、信仰のことは、子どもたちの心にしっかりとどきます。また日々子どもたちに注がれる、事務室の皆さん、用務さん、警備さん、給食業務の皆さん方の愛、保護者の方たちの祈りが、小学部の「敬神奉仕」の歩みをささえています。

## 祈り、礼拝のある日々

小学部で礼拝をご一緒された方は皆、子どもたちの賛美や「主の祈り」の声の元気よさ、一つになっていることに驚かれます。きっと神さまは喜んでいらっしゃることでしょ。



1



2



3



2



3

1. 週に一度の全校礼拝。4～6年有志による聖歌隊の奉仕は月1回ほどあります
2. オルガン科生の奏楽による学年礼拝。オルガン科は5、6年希望者が受講できます
3. 毎朝と下校時、それから週1回のクラス礼拝では、児童が讃美歌の伴奏をオルガンで務めます。大好きな「お当番」です

朝に夕に、行事のたびに、  
つねに神さまと対話をしています。

1. 夏期学校（追分寮）での礼拝。  
後ろの主題聖句は礼拝係が書きました（3年生）
2. 給食前の祈り
3. クリスマス礼拝

## となり人とともに

隣人を自分のように愛しなさい。マルコによる福音書 12：31

### 「被災地へクリスマスをとどけよう」活動

2011年、東日本大震災の年から毎年、アドベントには被災地の方がたに手づくりのクリスマスオーナメントをお届けしています。



### 🍁 小さいかご活動

「敬神奉仕」を具現化する活動です。それぞれの学年に応じたプログラムで隣人について学び、行いをもって隣人への愛をしめすための実践も行います。



手話を教えていただいています

### 🍁 姉妹校との交流

同じくキリスト教学校である韓国の梨花 (Ewha) 女子大学附属初等学校とは、単なる親睦、文化交流を超えた「祈り合う関係」を長く続けています。

Ewha が Eiwa を訪問して下さった際、5年生が韓国語で讃美歌を歌いました



# 教員紹介

—専門分野と研究テーマを教えてください。

教会付属幼稚園でキリスト教保育の実践をしてきました。現場の保育者にとっては、子どもに関わるすべてが研究テーマです。子どもの姿、保育内容、保育者のあり方など、幼稚園の日常生活を保育者の立場で学生に伝えられたらと思っています。

現在は、キリスト教主義の保育者養成の歴史をテーマに、飯島千雅子先生・石津珠子先生の研究を手がかりに、東洋英和の幼稚園師範科時代の養成教育を研究しています。

—歴史研究から今につながるメッセージはありますか。

近代日本の保育者養成は、女性宣教師の先生方が始められたキリスト教主義の保母養成校によって支えられてきました。東洋英和はその一つです。1年課程の養成でも認可されていた時代に、2年課程で、理論と併せて教育実習を重視した養成教育が行われてきました。日曜学校の先生を務めることもありました。

現在、教育実習先の8割がキリスト教主義の幼稚園であるのは、本学の特色だといえるでしょう。多くの卒業生がそこに関わり、後輩たちの指導を丁寧に行ってくださいたいです。実習中の礼拝出席では、保育以外の卒業生の方々との出会いもあり、学

## ▶▶▶ 学生からのメッセージ



人間科学部保育子ども学科4年  
(左) 菅野 桃花さん  
(右) 三枝 亜友莉さん

浩代先生には幼稚園実習や就職活動で困った時に必ず相談していました。先生はその度にとても親身に伝えてくださいました。3年次では、私たちのことを思って時に厳しい言葉もありましたが、そのおかげでここまで成長することができました。感謝の気持ちでいっぱいです。自分のことのように一緒に悩み、対応してくださる先生との出会いは宝物です。

## Hiroyo Sato

先輩から託されたバトン。歴史につながり今がある。



### 大学

人間科学部保育子ども学科

### 佐藤 浩代 実習指導講師

東洋英和女学院短期大学保育科卒業後、教会付属幼稚園に勤務。主任教諭を務めながら東洋英和女学院大学大学院修了。修士（人間科学）。2011年東洋英和女学院大学任期制嘱託講師。2021年より現職。教育実習指導、保育内容（言葉）の指導法を担当。趣味は茶道、観劇、旅行、車の運転。



一年で一番侘びた  
佇まいの床飾り

生たちが同窓の一員であるのを感じる機会になればよいと願っています。

### —趣味の茶道についてひとこと。

保育科を卒業してすぐに「先生」と呼ばれるようになり、自分が「先生」に教わる場をもっていたと願います。お茶（表千家）のお稽古を始めました。今も週に一度続けています。

非日常の空間で過ごす時は、心身ともにリセットされます。茶道は、道具や点前以上に、常に相手をも思ってもてなす精神修養の場でもあります。決して出過ぎず、相手に合わせて間を回り、必要な時にはいつでも手を差し伸べられるように待機する。その精神は、保育にもつながると気づくようになり、まったく異なると思っていた保育と茶道がつながっている不思議を発見しました。

### —英和生へメッセージを！

「後輩たちをよろしく願いますね」私が大学に着任した時に、保育科の先輩であり恩師である芝恭子先生から託された言葉です。新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けた大学生活となり、大変に感じることも多くあると思います。その分、友だちとの共感もたくさん生まれていることでしょう。同じ体験をした学生時代の友との出会いを大切に、英和での学びのバトンをつないでいてください。

— 日本に来るまでの韓国での生活と来日のきっかけは？

生まれ育った韓国のソウル市にある梨花女子高等学校を卒業後、日本の東京神学大学に進学（留学）しました。当時は日韓ワールドカップや『冬のソナタ』など韓流ブームの前で、日韓関係は政治的にも険しいムードだったため、日本への留学は勇気が要りました。必要書類も膨大で、申請からビザが下りるまでにもかなりの時間がかかりました。しかし植民地時代に祖父は日本のクリスチャンの方で助けられたことで感謝の気持ちを持っており、その思いは母から私まで伝わっていました。それが日本の留学への決め手でした。

— 教員になったきっかけを教えてください。外国籍でも日本の教員免許が取れますか。

取れます。日本語で神学を学ぶのは大変で、哲学や神学の専門用語は難解で、明治時代以前に書かれた文献は暗号を解読するような感じでした。さらにギリシャ語やヘブライ語、シリア語、ラテン語にドイツ語などもあり、毎日が放心状態でした。その中で現代日本語が使われていて、何とかついていけたのが教職課程だったのです。教職を履修していた留学生は私1人だったため教授たちも少し驚いたようでした。大学3年生

### ▶▶▶ 生徒からのメッセージ



高等部3年  
斎藤 真唯さん

私は朴先生に、宗教活動委員会と聖書科の授業で6年間お世話になりました。聖書科の授業では劇やディスカッション、漫画の創作などを通して、私たちが聖書のお話を深く理解できるように活気のある授業をしてくださいました。温かいお人柄とユーモアで、英和生の心に信仰の種をまき続けてくださいました。

## Sumi Park

絶望の有限性を超える無限なる神様の愛

中高部

宗教主任

### 朴 洙美 教諭

東京神学大学大学院組織神学専攻修士課程修了。2007年～2009年 永信保育園と在日大韓基督教会名古屋教会の伝道師。2009年度～2013年度 中高部聖書科非常勤講師。2014年度 聖書科教諭に就任。YWCAと宗教活動委員会の顧問の他、宗教委員と学院宗教教育委員などを担当。2021年度 宗教主任に就任。



毎年のアドベント前に宗教活動委員が校内のクリスマス関係の装飾を行います



の時、担任教授から、なぜ実習申請をしないのかと聞かれました。留学生は免許取得ができないという思いを伝えたところ、担当教授から「やってみないと分からない！」と怒鳴られました。それでもとにかく実習の申請をしました。するとなんと実習先が決まり、それが東洋英和女学院中高部でした。同期の実習生（英和卒業生）たちは不安で困っている私を応援してくれました。授業で使う絵を描いてくれたり、英和生が好きなポイントなどを教えてくれたりしました。優しい生徒にも恵まれ、無事実習を終えることができました。特に、上履きに日本の苗字を書いていた生徒が「先生、実は私も韓国人です。頑張ってください」と励ましてくれたことが心の支えになりました。大学院2年生の時は非常勤として中高部で聖書を教える機会も与えられるなど英和の先生方や生徒の皆さんには心から感謝しています！

— 英和生へメッセージを！

「何を守るよりも、自分の心を守れ。そこに命の源がある。（箴言4章23節）」先例のない生き方を選ぶことは孤独で勇気の要ることです。しかし神様から与えられた命、自分の心（思い）に自信を持ってください。なぜなら、神様がその心と命を守ってくださいからです。

英和生の活躍、ご紹介します！

### ブロードウェイ・夢の舞台を創る



#### 横尾 沙織

2008年高等部卒業後、オハイオ・ノーザン大学でシアター・プロダクションを専攻。卒業後ニューヨークと全米ツアーでブロードウェイ作品を中心に活躍。『インハリタンス1&2』、『オン・ユア・フィート』など多数の作品に関わり、現在はブロードウェイ『ウィキッド』で活躍中。米国俳優協会加盟。

「ニューヨーク・マンハッタン  
のブロードウェイの交差点  
はタイムスクエアと呼ばれ、「ラ  
イオンキング」「シカゴ」「オペラ  
座の怪人」「ウィキッド」などの  
ブロードウェイ・ミュージカルを  
毎晚上演している劇場やレストラ  
ンなどが建ち並び、壁いっばいの  
ディスプレイ・ネオンサインなど  
のビルボードが、全世界から集ま  
る観光客を魅了している。世界の  
交差点と呼ばれるこの街に、沙織  
さんはいた。

間もなく幕が上がる劇場のステ  
ージの上に立っているのが沙織さ  
んだ。肩には12チャンネルのトラ  
ンシーバー、口元には小さなマイ  
ク。開演直前のリハーサルが終わ  
り、照明・音響・小道具・大道具  
などそれぞれのクルーと最終確認  
に余念がない。暗転時のキャスト  
や小道具などの移動のため、フラ  
ッシュ(懐中電灯)も腰にある。  
ステージ上に打ってあるスパイク  
(立ち位置・小道具等の位置印)  
の最終確認も終わった。

彼女が劇場支配人に指示すると、  
劇場の全ての扉は開かれ、次々と  
観客席が埋まっていった。  
劇場内の照明は消え、人々は幕  
が上がるのを、固唾を呑んで待っ  
ている。  
彼女が「キュー」をコールする  
と、照明が絨帳を浮かび上げらせ、

2度目の「キュー」を出すと音響  
が鳴り響いた。  
沙織さんは、ブロードウェイ・  
ミュージカルのステージマネージ  
ャーです。日本における、舞台監  
督・演出補・制作に相当する役目  
であるという。  
高等部を卒業した彼女は、舞台  
芸術を学びたいとオハイオ・ノー  
ザン大学に留学し、シアター・プ  
ロダクションと芸術経営を学び、  
美術学士を修得します。大学には  
大きな劇場があり、舞台づくりの  
さまざまな働きを学び、ミュージ  
カルのプロダクション・ステージ  
マネージャーを体験した。その時  
「あつ、これは私の天職だ」と心

の叫びが起こったそうです。  
演出家や振付師は、開幕後は毎  
日劇場に来る訳ではないので、代  
行してキャストと話し合っってステ  
ージを作り上げる。ミュージカル  
のダンス、歌と演技のリハーサル  
も進行していく。照明・音響など  
多くのクルーへの指示、安全・怪  
我の対応、キャストの健康維持と  
練習場所の確保、リハーサルの進  
行、フェイスシート・コンタクト  
シートの用意、台本・楽譜のコピ  
ー配布、装置の図面を熟読、スパ  
イクの確認、台本・小道具・大道  
具の管理、役者のステージへの登  
壇指示など、仕事の内容は多種多  
様。この目の回るような仕事を  
「天職を得た」と心から喜んでいる。  
その原点は中高部の音楽部活動に  
あった。部員全員が喜んで、自信  
を持ってそれぞれの持ち場を全う  
できるよつに、心を砕いてステ  
ージを作り上げた高2の時に感じた  
あの充実感と喜び。

これを感じて生きていきたい。  
と願って、アメリカへの留学を選  
んだのです。  
コロナ後のブロードウェイ再開  
の演目が、高2の時文化祭で公演  
した「ウィキッド」となったのは、  
神様のプレゼントと感謝の思いを  
込めて、連日毎公演に全身全霊を

込めている。  
ブロードウェイのミュージカル  
は、通常アメリカ各州での1年か  
ら1年半のツアー公演となる。す  
でに彼女は45州での公演を体験し  
ているという。最近の仕事はエル  
トン・ジョンが楽曲提供をしてい  
る「プラダを着た悪魔」だった。  
するとこの公演中に誕生日を迎え  
るキャストがいた。パースディケ  
ーキと蝋燭を用意し、トハッピー  
パースディトが歌われ始めると、  
皆の前のテーブルに運びケーキカ  
ットをする。ケーキカットもとて  
も上手くなった。ステージマネー  
ジャーの中には、「私たちの仕事  
ではない」と嫌がる人もいる。「で  
も皆を幸せにすることが、私たち  
の仕事の一環」と沙織さん。  
皆さんの笑顔が見たくて、彼女  
は3度目の「キュー」を出した。  
そして、ステージの幕が上がり始  
めた。

込めている。  
ブロードウェイのミュージカル  
は、通常アメリカ各州での1年か  
ら1年半のツアー公演となる。す  
でに彼女は45州での公演を体験し  
ているという。最近の仕事はエル  
トン・ジョンが楽曲提供をしてい  
る「プラダを着た悪魔」だった。  
するとこの公演中に誕生日を迎え  
るキャストがいた。パースディケ  
ーキと蝋燭を用意し、トハッピー  
パースディトが歌われ始めると、  
皆の前のテーブルに運びケーキカ  
ットをする。ケーキカットもとて  
も上手くなった。ステージマネー  
ジャーの中には、「私たちの仕事  
ではない」と嫌がる人もいる。「で  
も皆を幸せにすることが、私たち  
の仕事の一環」と沙織さん。  
皆さんの笑顔が見たくて、彼女  
は3度目の「キュー」を出した。  
そして、ステージの幕が上がり始  
めた。

(文:編集部)



沙織さんの開場の合図を待つ  
LAのパンテージャス劇場

英和生集まれ!

# Maple Mall

音と味で世界を旅する犬も入れるちょっと不思議な店

## F\*GICCO

藤川 あおい (1974 年高等部卒)



**住所**  
世田谷区成城 2-12-11  
石井ビル1F

**TEL**  
03-6411-8638

**URL**  
<https://www.vanal-japan.com>



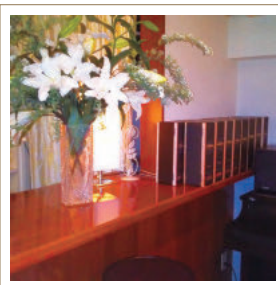
Check!

住んでいたクロアチアはトルコ、ギリシャ等の影響を受けている料理でした。そんなエスニックな家庭料理、ケーキ、週末にはえりすぐりのボサノバ、ジャズ、ポップスの生音楽が聴けます。犬入店可能。

お一人で、お友だちと、グラスかたむけ、ごゆっくりどうぞ

## 夢

根本 万喜子 (旧姓山内 1976 年高等部卒・1997 年大学卒)



**住所**  
新宿区荒木町 8-1

**TEL**  
03-3357-7811

Check!

食通の街・荒木町のお食事の後に一杯。また、お料理持ち込み等も可能です。4名様より貸し切りできます。ご相談くださいませ。

六本木に開業して 57 年 あなたにもっと笑顔を!

## ソフィア歯列矯正歯科医院

相澤 由佳 (1985 年高等部卒)



**住所**  
港区六本木 4-8-7  
六本木嶋田ビル 2F

**TEL**  
03-3403-3795

**URL**  
<https://www.sophia-ortho.com/>



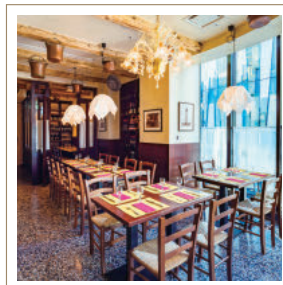
Check!

六本木交差点そばの矯正専門歯科医院です。お子様の歯並びから成人歯列矯正まで、お一人おひとりに合った治療計画をたて、適切な矯正装置の種類をご提案いたします。まずは無料初診相談でお気軽にご相談ください!

真のイタリアがここにある...

## オステリア ダ アダ

三木 智映子 (1998 年大学卒)



**住所**  
中央区銀座 6-4-3  
ジクロス銀座 GEMS 4F

**TEL**  
03-6280-6267

**URL**  
<https://g030204.gorp.jp/>



Check!

本場イタリアのお店を忠実に再現。内装はすべてイタリアで同じ物を造り、食材やワインも現地から輸入しております。もちろんレシビは日本流にアレンジすることなく、本場のお味。サービスや価格もイタリア流☆

### 一港区と東洋英和女学院の連携事業一

2021年度 東洋英和女学院大学 村岡花子記念講座  
教育の未来を考える

講演テーマ	「ウォーリズの学校一そのキャンパス・デザインに込めたもの一」
講演者	山形 政昭 氏 大阪芸術大学名誉教授
日時	2022年2月27日(日) 14時~16時
場所	東洋英和女学院 本部・大学院棟2階 201教室 (東京都港区六本木5-14-40)
定員	80名
参加費	無料
申込方法	氏名・住所・電話番号・欄園を見た旨ご記入の上、メール・FAX・往復はがき・生涯学習センター HP 内 Google フォームにてお申込みください。
メール送付先	shougaictr@toyoeiwa.ac.jp
申込期間	2022年2月1日(火) 申込受付開始
申込・問合せ	東洋英和女学院大学生涯学習センター 〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町32 TEL: 045-922-9707 FAX: 045-922-9701

※開催にあたり最大限の感染防止対策を行います。  
換気のため窓を開けますので膝掛け防寒具のご準備をお勧めいたします。  
※新型コロナウイルス感染状況等不測の事態による開催中止・変更事項等最新情報(は大学生涯学習センター HP にてお知らせいたします。



山形 政昭 氏

### 『野尻キャンプサイト50周年記念誌』販売中!

東洋英和女学院中高部の夏休みの行事といえは野尻夏期学校と野尻キャンプです。1970年に現在の地に野尻キャンプサイトが開設されてから半世紀。山あり谷ありの歴史と東洋英和の野尻野外教育の概要をまとめた記念誌が2021年7月1日に発行されました。美しい湖水と元気な笑顔がいっぱい載った記念誌となりました。購入ご希望の方は、以下の方法で販売しております。今も変わらない野尻をどうぞお楽しみください。なお記念誌の売り上げは野尻教育のために使用します。



【申し込みサイト】

【価格】税込み 2,000 円

【購入方法】①中高部校舎内購買部での購入(2022年2月28日(月)迄)

②通信販売での購入(2022年3月31日(木)迄、送料370円)

## 河野和雄先生の取材 —英和の音楽教育をたどる—

**史** 料室委員会が年2回発行している「史料室だより」では、最新号のNo.97とNo.98（5月発行予定）の2号にわたって学院各部の音楽教育の特集しています。

特集のトップバッターは中高部、執筆者は卒業生で読売新聞東京本社勤務の津屋式子さんです。津屋さんのご希望により、在学中に多大な影響を受けたという元中高部音楽科の河野和雄先生を取材しました。

本部・大学院棟大会議室での取材では、河野先生在職時代の音楽資料が部屋中に並べられました。数々の周年音楽会や音楽行事を企画し、パイプオルガンやハンドベル等の指導に熱心に取り組んだ河野先生の業績に改めて圧倒されます。

教会音楽を専門的に学んだ河野先生の礼拝演奏を「一音も聴き逃すまいと目を凝らしていた」という津屋さんの在学中の記憶も驚異的です。次々と細部にわたり河野先生へ投げ

かけられる質問と回答のやり取りには、東洋英和の音楽教育の豊かな恩恵への津屋さんの感謝の思いが溢れていました。

こうして生まれた特集記事では、学院創設以来の宣教師に始まり、戦後の富岡正男先生、それに連なる河野和雄先生のご指導という中高部の音楽教育の系譜が鮮やかに描き出されています。是非、一読ください。



河野和雄先生への卒業生の津屋式子さんによる白熱の取材風景  
(2021年7月14日)

- 「史料室だより」No.97「特集 東洋英和の音楽教育①中学部・高等部の音楽教育②東洋英和幼稚園の音楽教育」は、右記の URL もしくは QR コードからお読みいただけます。 <https://www.toyoeiwa.ac.jp/archives/publications/>
- 史料室 TEL : 03-3583-3166 / FAX : 03-3583-3329 ホームページ <https://www.toyoeiwa.ac.jp/archives/>



### 学院同窓会より

## 『ごきげんよう』

今年度の同窓会は、長い歴史を共にしてきた保育部会がかえて会と同じく休会となり、楓美会は希望されていた独自の活動を始めました。現在は東光会・楓雅会・大学院同窓会が中心となり学院同窓会として活動しております。コロナ禍で予定しておりました行事の中止等がありますが、クリスマス礼拝は一昨年同様に WEB 配信いたしました。ご療養中や遠方の同窓生からもご好評いただきました。

た。このように学院同窓会は時代に即しながらも、同窓生お一人おひとりの心に沿うことを忘れず、今後も役員一同努めさせていただきます。

『喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい』  
ローマの信徒への手紙 12:15

次回の学院同窓会総会は **2022年6月4日(土)**  
**新マーガレット・クレイグ記念講堂**にて開催予定です。  
詳細はホームページ等でご確認くださいませ。



2021年度 学院同窓会役員

### 大学同窓会 楓美会より

## 楓美会 東洋英和カレンダー発売のお知らせ

楓美会はコロナ禍でも「ピンチをチャンスに!」を合言葉に、できる事を模索し活動を進めて参りました。その中で生まれたものが今回のカレンダーです。生まれなくても心は英和の皆様と共にある、との願いが込められています。内容は学校の暦に合わせて2022年度まで（～2023年3月）とし、SDGsの視点とユニバーサルデザインを採用しました。英和の恒例行事とキリスト教に特化したカレンダーです。

販売価格：1部 1,500円（卓上形式）  
送料：198円～  
申込方法：申し込み専用アドレスに連絡  
①氏名②メールアドレス③希望部数④送り先住所

【カレンダー申し込み専用アドレス】  
**fubikai2022calendar@gmail.com**

※振込先等詳細は申し込み後に返答させていただきます。  
※メールのみで受付させていただきます。  
※販売数に限りがあるため先着順とさせていただきます。

